

児童会活動指導案

指導者 市村 文裕

1 議題 「みんなの思いをこめた運動会のテーマを決めよう」(代表委員会)

2 児童の実態と議題選定の理由

(1) 児童の実態

本校の児童は、男女の仲が良く、とても明るく前向きに活動する。話し合い活動において、低学年では他者と同意見の割合が高く、多様な意見は出てこないものの、全員が意見を発表できる状況である。中学年では、理由を明確にしなが意見を発表できる。しかし、意見が対立した時に折り合いをつけて集団決することができない。高学年では、自分の意見をしっかり伝え、意欲的に取り組もうとする様子が見られる。しかし、意見を言うことを躊躇して発言の機会を失ってしまったり、逆に、自分の意見を強く押し通そうとしたりすることもある。また、話し合い活動では、意見をまとめられずに話し合いが行き詰まったり、時間内に終わらなかつたりすることもある。回数を重ねるにつれ、話し合いを前向きに進めるような建設的な意見も出せるようになってきているが、多様な意見を掌握し、整理し、まとめていくまでには至っていない。

(2) 議題設定の理由

代表委員会の司会グループを務める計画委員会の児童と担当職員で、運動会のテーマ決定までの流れと役割分担について打合わせを行った。以前は、各学級で文章化したテーマを決め、代表委員会において、それぞれの学級のテーマを発表し合って、一つのテーマを多数決や投票などによって決めていた。しかし、その方法では、全校児童の意見を反映できないと考えた。

そこで、今回の代表委員会は、今までの代表委員会の参加メンバーによる話し合いに加え、低学年の意見の聞き取りを取り入れた。また、文章ではなく、「テーマに入りたい言葉」について話し合うことにより、各学級の意見を反映しやすくなると考え、3年生以上の学級では、「運動会のテーマに入りたい言葉を決めよう」という議題で学級会を開き、決まった言葉を「短冊カード」に書いて代表委員会に持ってくることにした。また、全校児童の思いや願いを込めたテーマにしたいと考え、「運動会のテーマを決めよう」という議題に「みんなの思いを込めた」というキーワードを入れて本議題とすることにした。

3 評価規準と目指す児童の姿

観点	集団活動や生活への 関心・意欲・態度	集団の一員としての 思考・判断・実践	集団活動や生活についての 知識・理解
評価規準	楽しく豊かな学校生活をつくるための諸問題に関心をもち、他の児童と協力し、積極的に児童会の活動に取り組もうとする。	楽しく豊かな学校生活をつくるために、児童会の一員としての役割や諸問題を解決する方法などについて考え、判断し、協同して実践している。	楽しく豊かな学校生活をつくる児童会活動の意義や組織、そのための活動内容、方法などについて理解している。
目指す児童の姿	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんな運動会にしたい」という思いをもって、意欲的に話し合い活動に参加している。 ・代表委員会では、中学年代表委員の頑張りを取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの力で適切な議題を決定している。 ・代表委員として、自分の学級の意見を積極的に提案している。 ・少数意見も大切に、全学級の総意でテーマを決定しよう 	<ul style="list-style-type: none"> ・代表委員会の目的を理解し学校生活の充実・向上を目指した適切な議題を見つけ、提案している。 ・代表委員会の目的を理解しながら、話し合い活動に取り組んでいる。

<ul style="list-style-type: none"> ・テーマに込められた思いが伝わる広報活動を積極的に行っている。 ・活動を振り返り、今後の学校生活の充実・向上への意欲をもっている。 	<p>としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運動会では、テーマを意識しながら協同して取り組んでいる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの内容や方法について理解している。
--	---	--

4 活動と指導の見通し

	活動内容	日時	指導・支援	目指す児童の姿と評価
話し合いの準備	議題設定・役割分担	9/7 昼休み	提案理由、議題の条件を確認しながら、議題を設定するよう助言する。	代表委員会の目的を理解し、学校生活の充実・向上を目指した適切な議題を見つけ、提案している。 (知識・理解) [振り返りカード]
	議題決定・報告 学級会開催の要請	9/11 昼休み	適切な議題を決定し、各学級に分かりやすく報告できるように助言する。	自分たちの力で適切な議題を決定してる。 (思考・判断・実践) [観察]
	学級会「運動会のテーマに入れる言葉を決めよう」	9/14	どんな運動会にしたいかを考えながら話し合いに参加するよう助言する。	「こんな運動会にしたい」という思いをもって、意欲的に話し合いに参加している。 (関心・意欲・態度) [観察]
	内容の検討	9/18 昼休み	前回までの話し合いを振り返り、話し合う内容や順序、時間配分を自分たちで考え、準備できるように助言する。	話し合いの内容や方法について理解している。 (知識・理解) [提案カード]
話し合い	代表委員会 「みんなの思いをこめた運動会のテーマを決めよう」	9/21 (本時)	本時の活動に記述	
実践	広報活動 テーマ決定までの流れを示した掲示物作成 テーマ発表原稿作成	9/24 ~26 昼休み	決まったテーマの広報だけでなく、決定に至る経緯やテーマに込められた思いが伝わるように広報活動するよう助言する。	テーマに込められた思いが伝わる広報活動を積極的に行っている。 (関心・意欲・態度) [観察]
	運動会	9/29	テーマを意識した活動ができるよう助言する。	テーマを意識しながら協同して取り組んでいる。 (思考・判断・実践) [観察]
振り返り	運動会の振り返り	10/4 学級活動	運動会では、テーマを意識した活動ができたか、自己評価・相互評価の振り返りを行う。	活動を振り返り、今後の学校生活の充実・向上への意欲をもっている。 (関心・意欲・態度) [振り返りカード]

5 本時の展開

ア ねらい

- ・全校児童の思いや願いを反映した話し合い活動を行うことができる。

イ 展開

学習内容及び活動	教師の支援及び評価
1 はじめの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いに参加する意欲を高めるためにも、ねぎらいの言葉をはじめの言葉に入れるように司会者に助言する。
2 テーマの確認 「みんなの思いを込めた運動会のテーマを決めよう」	<ul style="list-style-type: none"> ・全員でテーマを読み上げることにより、話し合いに参加しようとする意欲を高めたい。
3 提案理由の発表 「学校全員の思いをこめた運動会のテーマを決めたいから」	<ul style="list-style-type: none"> ・テーマ決定までの経緯について分かりやすく説明できるように練習させておく。
4 話し合い (1) 各クラスからの発表 (2) テーマに入れる言葉を決める。 ア 「自分に関すること」 「友達に関すること」 「勝つことに関すること」 の三つの視点で分類する。 イ 三つの視点の中で統合する。	<ul style="list-style-type: none"> ・下学年がスムーズに発表できるよう、高学年から発表させる。 ・自由発言を基本の形にしていくが、話し合いが滞った場合には、司会者から発言させるよう支援をしていきたい。 ・短冊カードの動きが分かるような板書構成をするように助言する。 ・意見を整理統合する場合、必ずその意見の提案者に考えを聞くよう助言する。 ・A案とB案が対立してしまったら、C案を出して良いことを告げさせる。
6 決まったことの発表	<ul style="list-style-type: none"> ○ 少数意見でも大切に、全校児童の思いや願いを反映した話し合い活動を行うことができた。 (思考・判断・実践)
7 先生の話	<ul style="list-style-type: none"> ・板書の決定事項だけを発表するよう書記の児童に助言する。 ・代表委員には、決定したことを各学級に口頭で伝えるよう話す。 ・相手の立場を尊重した意見や話し合いを効率よく進めようとした意見を称賛する。
8 おわりの言葉	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いをねぎらう言葉かけができるよう助言する。

6 事後指導

- ・話し合いを振り返り、今後の代表委員会に生かせるようにする。
- ・振り返りを通して成果が実感できるようにし、「みんなの思いを込めたテーマをつくることができた」という達成感が味わえるようにする。

